

# 厚岸町海事記念館



## 通信

2006.5.

No. 1

### 平成17年度海事記念館特別展「サケ・マス・サンマ展」を終えて！



特別展「サケ・マス・サンマ展」展示室風景

平成18年2月3日から26日まで、「サケ・マス・サンマ展」を開催しました。

食卓でお馴染みのこれらの魚について、種類や生態、分布、生産状況や漁法、栄養や利用方法など、標本や写真、パネルで紹介しました。また、アイヌ民族のサケ漁の道具であるマレクや魚皮製靴などの実物も展示しました。入場された方々は、沖での漁の様子や荷揚げの作業を映したビデオや、サケ・マス流し網漁船、サンマ棒受け網漁船の模型など熱心に見学していました。

また、2月19日には、プラネタリウム室で「サケの話～シロザケの生態とイトウの産卵～」と題して、釧路市立博物館館長補佐針生勤氏による講演会を開催しました。

シロザケの世界的な分布や回遊、生まれた川へのその上のメカニズムや、釧路川上流で確認されたイトウの交尾や産卵の様子、産卵場の作り方などについて、スライドを使用しながら興味深い話を解りやすく解説していただきました。

なお、特別展の図録は、海事記念館にありますので、ご希望の方はご連絡ください。また、サケ・マス・サンマに関するものを含め古い写真や資料も引き続き集めていますので、お心当たりの方はお知らせください。(熊)



講師 釧路市立博物館館長補佐  
水産学博士 針生 勤 氏

## 『厚岸の捕鯨を振り返る座談会』刊行！



厚岸町に鯨がいた!? これは、もちろん鯨が厚岸湾を自由に泳ぎ回っていたということではありません。厚岸町内に鯨を解体する捕鯨事業所があったということです。捕鯨事業所は、現在の港町側の厚岸大橋のたもとにありました。すでに整地されその面影はありませんが、最近まで「は大洋漁業」と書かれた煙突が立っていたのをご記憶の方も多いと思います。このは大洋漁業の捕鯨事業所で働いていた方々が、今回海事記念館で発行しました冊子『厚岸の捕鯨を振り返る座談会』の主役です。

事業所では、多くの人たちが働き、鯨の解体や肉と油の分離、ボイラーの管理などに従事していました。そこ

で実際に働いていた方々に当時の仕事ぶりなどを語っていただき文章にまとめたものが本書です。

今では、当時の風景や記憶を肌で感じることはできませんが、本書を通して鯨のいた風景や捕鯨基地としての厚岸という町の歴史を知っていただければ幸いです。当冊子をご希望の方は海事記念館までご連絡下さい。(車)



スリップウェイに引き上げられたイワシクジラ  
(昭和28年。砂山安雄氏所蔵)

## 4月1日、プラネタリウム「春」番組スタート！

海事記念館プラネタリウム室では、4月1日からおとめ座を中心とした春の星座について投影しています。おとめ座は地上の穀物を管理する農業の神とされ、正義の神とも言われています。「春」番組では、このおとめ座の神話についてのアニメーションや「星と大気の不思議な関係」と題したスライド解説も行います。この機会に春の星座の世界を楽しんでみてはいかがでしょうか。

### 【投影時間】

平日：15:30～

土・日・祝日

：11:00～、13:30～、15:30～

### 【観覧料】

海事記念館入館料のみ

(大人210円、高校生以下無料)

## 文化財係 第17回天然記念物

### 大黒島海鳥繁殖地観察会開催のお知らせ！

文化財係では、年に一度厚岸町内にある大黒島へ行きます。大黒島は、「大黒島海鳥繁殖地」として国の天然記念物に指定されています(昭和26年6月9日指定)。その名称からもわかるようにオオセグロカモメやコシジロウミツバメ、近年ではなかなか見られなくなったエトピリカといった海鳥など、多くの野生動物が生息しています。

また、大黒島の南側にあるトッカリ岩周辺にはゼニガタアザラシも生息しています。



### = 参加者募集 =

- 日時：平成18年6月10日(土)午前9時から午後15時  
(悪天候の場合は6月11日(日)に順延します)
- 集合場所：厚岸町海事記念館
- 対象：小学生4年生以上の町民の方(なお、小学生については保護者同伴をお願いします)
- 定員：15名
- 申込期間：5月31日(水)まで
- 参加料：2,500円(保険料500円含む)
- 申し込み・問い合わせ：海事記念館文化財係

0153-52-4040

この観察会では、これら大黒島に生息する動物を観察することにより、参加者のみなさんに、自然に対する接し方やその保護・保存の重要性について理解を深めてもらえればと思っています。

### 郷土館・太田屯田開拓記念館が開館しました！

冬期間、閉館していました厚岸町郷土館と太田屯田開拓記念館が4月16日から開館しました。

道東地方において早くから栄えた厚岸町の歴史を垣間見ることのできる厚岸町郷土館。そして、明治期の屯田兵の入植によってその開拓の幕を開けた太田村、その歴史を説明した太田屯田開拓記念館。皆様の起こしをお待ちしております。

#### 【厚岸町郷土館・太田屯田開拓記念館案内】

- 開館時間 午前9時30分～午後4時00分
- 休館日 毎週月曜日、祝祭日の翌日、11月16日～4月15日
- 入館料 100円(高校生以下無料)  
(なお、団体25名以上は1名60円)

## 文化財係町指定無形文化財「厚岸かぐら」を披露します!

平成18年5月20日から開催される「第57回あっけし桜・牡蠣まつり」で、厚岸町の無形文化財「厚岸かぐら」が披露されます。日時・場所については下記のとおりになっております。

厚岸かぐらは、江戸時代後期から末期にかけてニシン漁で賑わう厚岸に渡ってきた南部(今の岩手県盛岡地方周辺)の漁師たちによって伝えられた神楽に、アイヌ民族の人たちの踊りが融合してできたものだといわれています。現在、厚岸かぐら同好会が保存と伝承に努め、特に後継者育成として平成17年から真龍

### 【厚岸かぐら披露日程】

日 時 平成18年5月28日(日)  
午前11時30分～12時15分  
(雨天中止)

場 所 子野日公園

5月20日(土)～28日は第57回あっけし桜・牡蠣まつりが開催されています。

小学校に厚岸かぐら少年団を設立、指導しています。

今回、「あっけし桜・牡蠣まつり」では、助六舞、<sup>すけるくまい</sup>三本とうじ、<sup>えびすまい</sup>恵比寿舞、<sup>つるぎまい</sup>剣舞、<sup>ししまい</sup>獅子舞、餅つき舞の6つの演目を披露する予定です。餅つき舞では、当日会場で餅まきを行うとのことですので、ぜひこの機会に、「厚岸かぐら」をご覧ください。

## 平成18年度上半期今後の行事予定

(文) = 文化財係主催事業

5月 ほしぞら教室

7月 海の写真展

6月 寄贈資料展

9月 海の作品展

(文)第17回体験学習セミナー

### 編集後記

厚岸町海事記念館では、今号から「厚岸町海事記念館通信」を発行することとなりました。今まで出していなかったの?と言われそうですが、とにかく海事記念館で何をやっているのか、どういう場所なのかをみなさんに知ってもらうためにも、今後、継続して発行していく予定です。

ところで、先日、町内在住の方がお持ちの資料を調べる機会がありました。資料の数は56点にものぼりました。その多くが絵はがきで、釧路・阿寒国立公園や札幌方面に関するものなどでした。ところが、なかには明治時代にその方の先祖が本州から厚岸町に移ってきたことを示す資料や当時どのようなものをいくらで買っていたかを記した文書類などもあって、大変勉強になりました。明治時代に本州から厚岸町に移り住むとき、どういう思いだったのでしょうか。住み慣れた場所を離れ、寒さの厳しい北海道、厚岸へとやってくる。どのような決心をもってやってきたのでしょうか。私にとって、今回の資料との出会いは、資料の持つ意味ばかり

りではなく、その背景に強く興味を惹かれるものでした。(車)

「厚岸町海事記念館通信」第1号 2006.5.1発行  
【編集・発行】  
厚岸町海事記念館  
〒088-1128 北海道厚岸郡厚岸町字港町50番地1  
Tel/Fax (0153)52-4040